

地域	沖縄県 久米島町	認定日	平成23年9月29日	通巻番号	9 - 23 - 16
----	----------	-----	------------	------	-------------

①新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

久米島産農水産物を活用した加工食品の製造・販売とブランド化事業

久米島の特産品である久米島味噌及び海洋深層水等を活用し、久米島から産出された農畜産物を用いた加工食品開発を行ない、久米島ブランド構築を図りながら、国内外への販路開拓を図っていく。

➤ 連携体

農林漁業者 山城和満（養鶏業）、久米島青果(株)（野菜作農業）

農産物・畜産物の安定供給を担う。

中小企業者 (株)久米島物産公社（卸売業）、(株)久米島水産加工所（食品製造業）

久米島物産公社はコア企業として事業全体の管理及び販路形成を担う。久米島水産加工所は1次産品の加工を担う。

連携参加者 久米島漁業協同組合（漁業組合）、(株)沖縄全業（医薬品卸販売業）

久米島漁協は水産物の安定供給を担い、沖縄全業は野菜等の乾燥技術供給を担う。

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所

➤ 連携の経緯

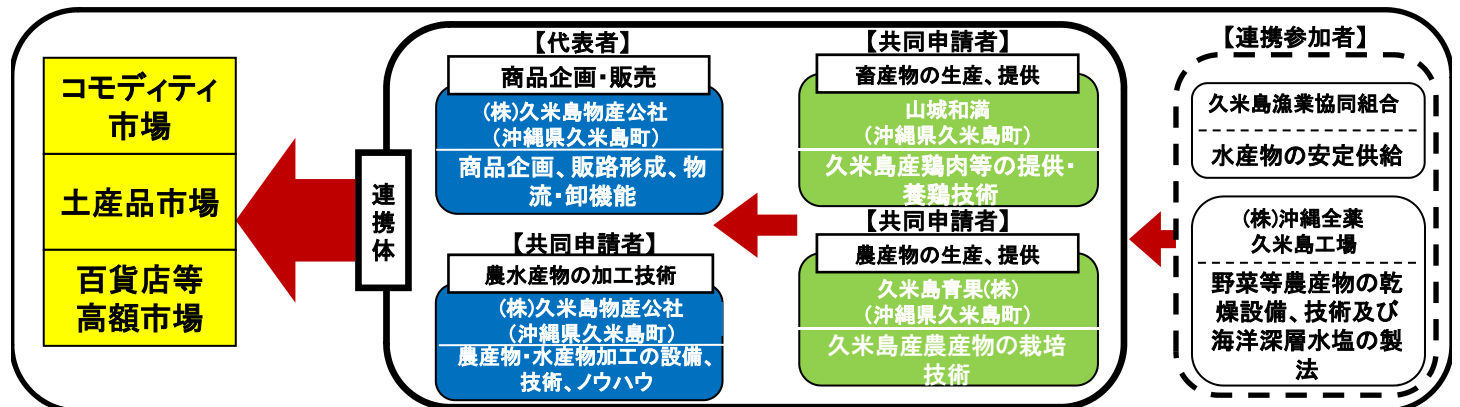
久米島商工会では平成21～22年度と農商工連携人材育成セミナーを実施し、地元の開発意欲刺激に努めたが、そのセミナーの参加者を主体に機運が盛り上がり、セミナーだけで終わらせるのではなく、事業に主体的に取り組むべく議論を始め、平成22年10月から平成23年7月まで15回以上の会議を重ね、連携体構築、事業計画の作成を行なうことができた。当事業では沖縄県内では珍しい「地域問屋」である(株)久米島物産公社をコア企業に農産・畜産・水産を網羅した1次産業群に加工を担う2次産業も含め、久米島を挙げた取組みとなっている。



久米島の特産品群

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

連携に当たっての最大の課題は連携参加者の役割分担をいかに取り決めていくかであった。農商工連携事業には非常に意欲的ではあったが、過去久米島ではこのような大所帯の連携は例がなく、各社の意識合わせ、目的合わせに時間を要した。



➤ 連携による効果

農林漁業者 山城和満 3年後、当事業売上 300万円、全体売上 3,000万円
久米島青果(株) 3年後、当事業売上 60万円、全体売上 1,000万円

加工食品開発にむけた、より優れた、且つ、収量の多い1次産品の供給が期待される。

中小企業者 (株)久米島物産公社 3年後、当事業売上 1,096万円、全体売上 9,050万円目標
(株)久米島水産加工所 3年後、当事業売上 500万円、全体売上 3,400万円目標

久米島産を活用することで、差別化された加工品の開発及び久米島ブランド構築を図る事で、国内外への販路開拓に期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社久米島物産公社
TEL：098-985-3636
E-mail：

所在地：沖縄県島尻郡久米島町字上江洲288
FAX：098-985-3653
ホームページ：<http://www.kumejima.jp/>